

小さな命に学ぶ “人間関係力”

23. 10. 4

羽合小で赤ちゃん登校日

湯梨浜町はわい長瀬の羽合小学校（浜根二三雄校長）で9月28日、児童が赤ちゃんとその母親らと交流し人間関係力を学ぶ授業「赤ちゃん登校日」が行われた。児童たちは、命の貴さやコミュニケーションの大切さを学ん

だ。授業には、9組の母子が訪れ、鳥取大学医学部の高塚人志准教授の指導で、5年生26人が交流。児童たちは母親から子育て話などを聞いたのち、赤ちゃん



赤ちゃんと触れ合う児童たち

をあやすなど母子との触れ合いでコミュニケーション能力を高め

た。参加した母親は「登校日に参加するため、子どもがいとおしくなる」などと感想を述べ、高塚准教授は母親たちに「子どもが中学生になっても、しっかり向き合ってもらいたい」と話した。

児童たちは「家族に育ててくれてありがとうと伝えたい」「人と話すときには目を見て話す」など家族やコミュニケーションの大切さなどを実感していた。

同校では本年度、5年生75人が3回にわたり同授業を体験している。

（住山貞夫）